フォトグラファーズ＆フォトビジネスフェア

PHOTONEXT 2021

[開催レポート]

2021年6月15日[火]-16日[水]　パシフィコ横浜 B ホール

新時代フォトビジネスへ！

主　　催 ： **株式会社プロメディア**
主催団体 ： **写真感光材料工業会**
日本フォトイメージング協会
一般社団法人日本写真映像用品工業会

1. 開催概要

■**開催期間**：2021 年 6 月 15 日（火）～ 16 日（水）
搬入日：6 月 14 日（月）

■**展示会場**：パシフィコ横浜 B ホール

■**業界団体併催セミナー会場**：2F 会議室

■**出展社数と出展小間数**：66 社 174 小間
（テーブル出展含む）

■**主催**：株式会社プロメディア

■**主催団体**：写真感光材料工業会
日本フォトイメージング協会
一般社団法人日本写真映像用品工業会

■**特別協賛**：日本営業写真機材協会

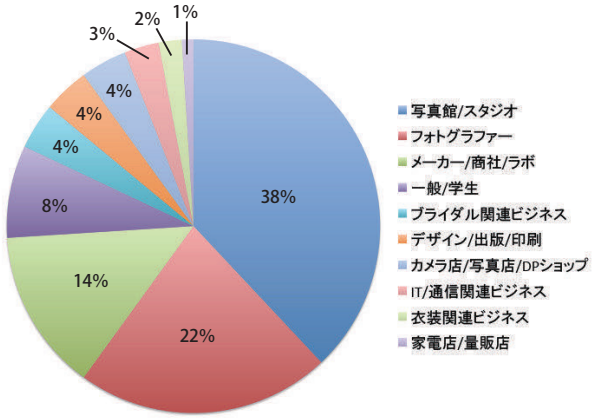
■**後援**：東京都　横浜市

■**協力**：カメラ記者クラブ
公益財団法人国際文化カレッジ
全国記念写真事業協同組合
全日本写真材料商組合連合会
一般財団法人日本カメラ財団
公益社団法人日本広告写真家協会
公益社団法人日本写真家協会
一般社団法人日本写真学会
協同組合日本写真館協会
公益社団法人日本写真協会
日本写真芸術学会
一般社団法人日本写真著作権協会
一般社団法人日本写真文化協会　※ 50 音順

■**登録来場者数**：受付で発行した入場者証の実数

	入場者数	前回実績
6 月 15 日	3,586 人	6,381 人
6 月 16 日	1,971 人	4,292 人
合計	5,557 人	10,673 人

■ 来場者層



・構成比（カッコ内は前回実績）は、写真館／スタジオが 38％（33％）、フォトグラファーが 22％（21％）、メーカー／商社／ラボが 14％（19％）、一般／学生が 8％（7％）、ブライダル関連ビジネスが 4％（6％）、デザイン／出版／印刷が 4％（5％）、カメラ店／写真店／DP ショップが 4％（4％）、IT ／通信関連ビジネスが 3％（2％）、衣装関連ビジネスが 2％（2％）、家電店／量販店が 1％（1％）となりました。前回に比べて、大きな変化はありませんが、写真館／スタジオやフォトグラファーの比率が微増し、メーカー／商社／ラボが微減で推移しました。

■取材プレス

・会期中は新聞社やカメラ雑誌社、写真業界誌（紙）など計 25 社に取材していただきました。業界でもオンラインによる展示会やセミナーが行われているなか、「リアルの良さを体感できた展示会」などと報じられました。

■ PR 活動

・会期 1 ヵ月半前に「開催案内パンフレット」を約 10 万部制作し、過去来場者に加え、出展各社の取引先にも広く配布させていただくとともに、業界団体会報誌への同封、フォトギャラリーや横浜市の観光案内センターおよび主要施設でも配布いただきました。また公式ホームページや公式 LINE アカウント等にて出展ブース情報やアウトレット出品物、セミナープログラム等を案内しました。

■開催主旨・内容

・「PHOTO**NEXT**2021」は、主催：株式会社プロメディア、主催団体：写真感光材料工業会、日本フォトイメージング協会、一般社団法人日本写真映像用品工業会により、前記の概要にて開催されました。

・「フォトグラファーズ&フォトビジネスフェア」のコンセプトを掲げ、「写真の撮影分野と写真関連商品の流通分野を対象に、市場の活性化と需要拡大、さらには展示会とセミナーを通じて撮影に携わるプロフェッショナルとビジネス関係者のレベルアップを図り、あわせて消費者に写真・映像の豊かな喜びを提供し、充実したライフスタイルづくりに貢献する健全な業界形成と発展を目指す」ことを目的に開かれました。

・2020 年は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開催を中止しました。2021 年もコロナ禍による影響を受け、出展小間数の減少に伴い、展示ホールを前回の AB ホールから B ホールのみに縮小することとなりました。

・神奈川県は蔓延防止等重点措置が適用され、隣の東京都は緊急事態宣言が発令されていたこともあり、とくに地方からの来場者が減り、結果的に前回比で 50%強となりましたが、2 年ぶりの開催に期待が集まりました。

・コロナ禍ながらも「ブースの展示品を手に取って体感したい」「ブースの担当者と情報交換したい」「セミナーを聴きたい」など、目的意識を持った来場者が多く見られ、出展社からは「来場者は前回に比べて少ないものの、一定の成果はあった」と評する声もあがりました。

・新型コロナウイルスが世界的に猛威を振るい、私たちの生活を一変させました。ビジネスに与えた影響も、計り知れないものがあります。写真業は、観光業や飲食業などに比べれば、さほど大きな影響はなく、七五三をはじめとする記念撮影も 1 回目の緊急事態宣言解除後には、徐々に再開され始めました。

・一方、ブライダル業界では、三密を避けるために小規模な挙式披露宴へのシフトチェンジが加速化しました。外出が自粛され、三密を避けた行動が求められるなか、神社で参拝や式場で結婚式が行えない代わりに「記念写真を残したい」という需要が高まり、貸切スタイルのフォトウェディングが顕在化。

・「フォトウェディング」の受注も増加し、結婚式場のなかには豪華なセット空間を開放して撮影サービスの充実化を図る動きも見られます。

・ニューノーマル時代と言われるなかで、これまでの商品やサービスの在り方が変わり、考え方を変えるきっかけにもなりました。コロナ禍で厳しい側面もあるなかで、いかに生き残り、新しい需要を創出していくか。そこで本年は「新時代フォトビジネスへ!」をテーマに掲げ、新たな写真価値の創造に向けて挑戦しようと考えました。

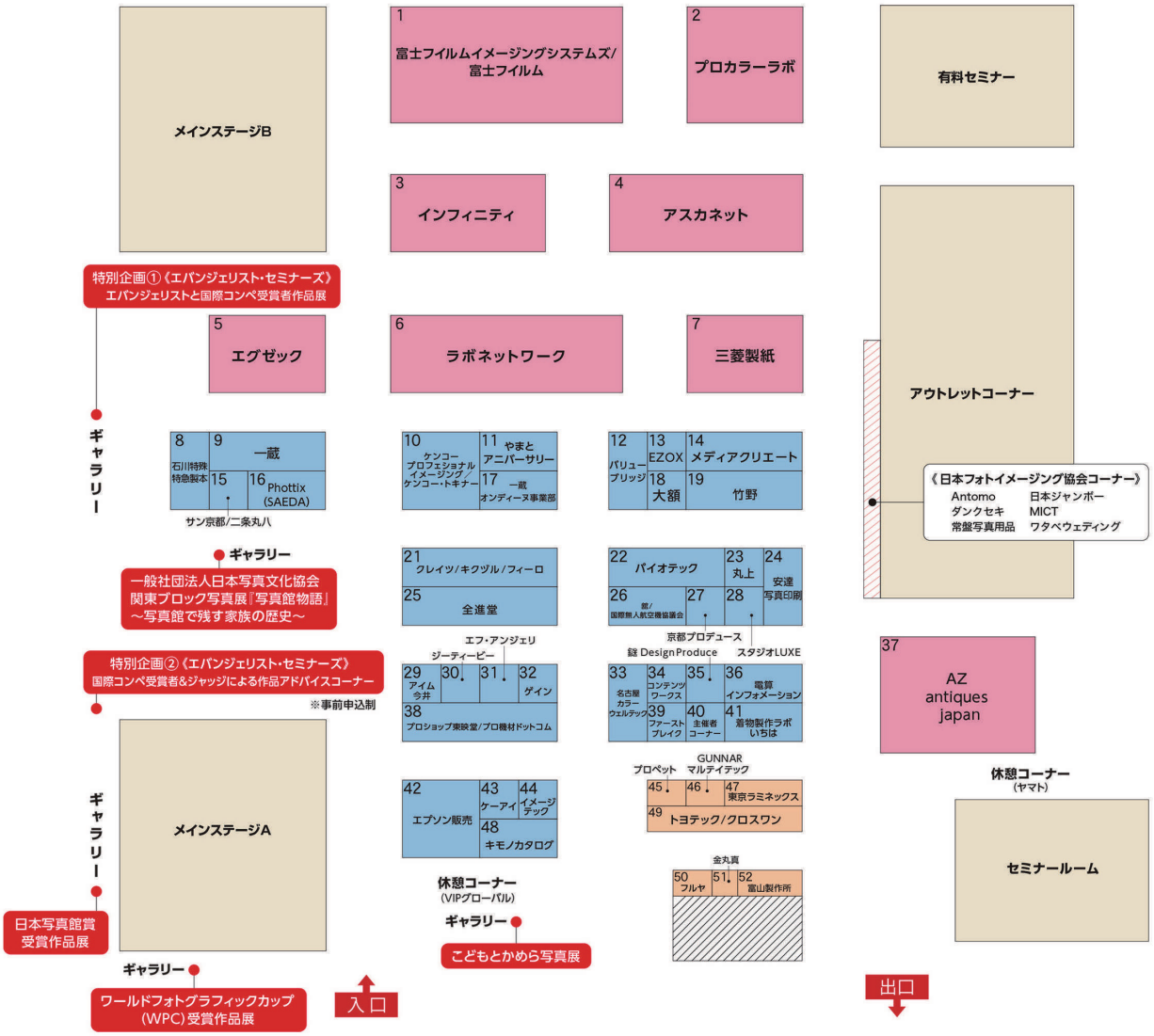
・感染症予防としては「全参加者へマスク着用の徹底」「出入口で体温測定」「アルコール消毒液の設置」「扉の開放、空調設備による常時換気」「セミナー会場での座席感覚の確保」など、一般的なイベントや展示会で取り入れられている対策を講じました。

・これらの内容を、公式サイトや開催案内パンフレットに記すとともに、会場内にもサイン看板にてアナウンス。休憩コーナーでも「大声を出さないこと」「飲食はできる限り控えること」等を案内しました。

・出展マニュアルを通じて出展社への協力も呼びかけ、各ブースでも対応が図られました。受付も開場前は長蛇の列ができましたが、ソーシャルディスタンスを取り入れるなど、極力密にならないように心がけました。発熱のある人がいた場合は救護室へ誘導し、保健所への連絡等を想定していましたが、感染症対策の徹底により、そうしたケースはゼロでした。

2. 出展社の展示

PHOTO**NEXT**2021 会場 MAP



・PHOTO**NEXT** の前身「スタジオ写真フェア」から数えて 17 回目の開催、PHOTO**NEXT** としては 11 回目の開催となった今回、出展社数は減少するも衣装関係をはじめ 15 社の新規出展があり、多彩な顔ぶれとなりました。

・展示ホールでは、最新の写真機材、アルバム、ソフトウェア、プリントサービス、関連用品などが展示されました。日本のプロフェッショナル写真分野に関わるメーカー、商社、ラボ、流通などの各社が参加し、写真館、写真店、DP ショップ、フォトグラファー、ブライダル分野、家電量販店、出版、印刷、デザインなど幅広い層に、最新のビジネス機材&ソリューションの提案が行われました。

・今回の新規出展社のなかには、衣装のほか、スタジオ

施工について大々的に提案するところもあり、「コロナ禍なので会場に行くか迷ったが、実際に見ることができ、収穫も多々あった」という来場者もいました。

3. 展示会場および別会場での開催イベント

メインステージ A・プログラム

6 月 15 日（火）	6 月 16 日（水）
日本写真館大賞授賞式 ワールド・フォトグラフィック・カップ（WPC）授賞式	**ブランディングを意識したビジネスポートレート撮影術** 早坂華乃（Kano Hayasaka Photo Studio PRICELESS MOMENT）
特別パネルディスカッション さらなるフォトグラファースキルアップに向けて 〜エバンジェリスト・セミナーズ〜 Tracey Taylor & Dee Green（37 Frames） 中村成一（中村写真事務所） 故島永幸（フォトアート・コジマ） 水野謙治（フォトイマジック）	**これから選びたい 信頼できる撮影機材・アイテム** 今井しのぶ（こどもとかめら）
	唯一無二の異端児戦略 昨年の七五三集客を 180%アップさせた 3 つのファクターとは？ 中村竜雄（こそでや　成城スマイルスタジオ） 稲次寛（クッキーナッツ・スタジオ）

メインステージ B・プログラム

6 月 15 日（火）	6 月 16 日（水）
今こそ写真が親子に必要な理由 親野智可等（ほめ写プロジェクトリーダー 教育評論家）	**ポージングやディレクションを一切しない。新しい家族写真のカタチ「ドキュメンタリーファミリーフォト」** 藤田努（bozphoto&styles）
フルサイズミラーレス一眼 その操作性と優位性 森脇章彦（写真家）	**カメラ機能と需要を最大限に発揮！ ポストコロナを見据えていま写真館ができることとは** 中嶋秀磨（イメージバンクナカジマ）
振袖シューティング Live！ 長岡秀文（写真家）	**ミラーレスカメラでなければならない仕事と ミラーレスカメラでもできる仕事** 隈川英孝（隈川写真館）
最新 GFX がもたらす圧倒的クオリティと 撮影表現の拡がり HASEO/ ハセガワハセオ（写真家）	**レンタルスタジオから衣装までフリーランス フォトグラファーを幅広くサポート** 宮崎大地（ファーストブレイク）
ミラーレス時代のフォトグラファーとは 堀光治（フォトアトリエ アディ）	

・セミナープログラム数は、会場が B ホールのみと縮小したことから、前回（43 本）よりも少ないながら、34 本と前々回並みのボリュームとなりました。2 日目の最後のプログラムまで聴講する来場者も多く、今回も滞留時間の長さを印象付けました。業界団体主催セミナーも前回と同様の規模で実施。全般的に好評を博しました。

■メインステージ

・その年の PHOTO**NEXT** を象徴する大きなテーマに基づいてセミナー講演を行うステージとして、前回に引き続き今回もメインステージと称して、A と B の 2 つに分けて繰り広げました。

・基調講演は「ほめ写で創出される写真価値」をテーマに、「ほめ写プロジェクト」のリーダーで教育評論家の親野智可等氏が登壇。「ほめ写プロジェクト」は、親野氏が小学校の教師として、多くの子どもたちと接してきたなかで感じた「自己肯定感の高い子どもの家庭には、写真が飾られていることが多い」ということに着目し、2018 年 8 月に発足されました。

・コロナ禍により、活動が制限される子どもたち。学校での生活は、友達や先生たちとの関わり合いを通して、子どもたちにとって自己肯定感を形成する場として重要な役割を持っていますが、「大声を出さない」「人とくっつかない」等の制限があり、思いっきり友達と関わりづらくなっています。そんな今だからこそ、写真の力を通じて 1 人でも多くの子どもたちの自己肯定感を高めていくことの一助になればと考え、本セミナーを実施。「今こそ、写真が親子に必要な理由」と題して語られました。

・カメラに関する最新情報や、プロ撮影分野での活用事例などについては計 5 本のセッションを企画。パネルディスカッションとしては、「世界レベルの写真スキルアップに向けて」と「七五三＆成人式の集客・単価アップ策」の 2 つをテーマに繰り広げました。

・前回に引き続き、今回も多くの女性来場者を見込み、第一線で活躍する女性フォトグラファーによるセミナープログラムを企画しました。

・スタジオ経営の傍ら、フォトグラファー向けフォトレッスンも主宰するなど、精力的に活動する 2 名の女性講師に、ミラーレスカメラやアクセサリー等の機材選び、ポートレート撮影にて取り入れているライティングの解説など、女性視点で語られたプログラムも、女性層を中心に注目を集めました。なお、講師を務めた株式会社こどもとかめら代表取締役・今井しのぶ氏の撮影写真は、2021 公式ビジュアルに採用されました。

セミナールーム・プログラム

6 月 15 日（火）	6 月 16 日（水）
韓国ウェディングフォト撮影・レタッチメソッド YASUTO（フォトアーティスト） 協力：スタジオ LUXE	**Phottix LED ライトを使用したライティングセミナー（ポートレート / 商品撮影）** 清田大介（DreamPixels） 協力：Phottix（SAEDA）
中望遠レンズで魅力を最大限に引き出すキッズポートレート 今井しのぶ（こどもとかめら） 協力：ケンコー・トキナー	**多様化する花嫁像 魅せるドレスとヘアアレンジで SHOW TIME** 長岡秀文（写真家） 江隈里紗（美容師） 協力：クレイツ / キクヅル / フィーロ
コンパクトなシステムで構成する出張撮影ライティング 吉村隆（フォトグラファー） 協力：ケンコープロフェショナルイメージング	**「写真整理」を通じて人に寄り添う新サービス提案** 浅川純子（写真整理協会） 協力：MICT
ドローンによる商業写真空撮の可能性 ～ドローンで差が付く学校空撮～ 中西淳（CYPORT/ 国際無人航空機協議会） 林義明（林写真館） 協力：舘	
コメットストロボが開発した紫外線ストロボによるコロナウイルス除菌機 コメット 協力：プロショップ東映堂	

■セミナールーム

・出展社が主体となって行う公開セミナーは、単なる自社製品の PR を行うのではなく、外部講師を招いて実施することで、多くの来場者を吸引しました。本年は 8 社がエントリーし、撮影から出力まで最先端のフォトビジネスに関するセミナーが行われました。

■アウトレット

・出展社が現行品以外の商品を出品する人気の物販コーナー。前回好評だったことから、今回も「衣装展示即売コーナー」を併設しました。出展社は前回の 29 社から 11 社と減少しましたが、お買い得商品を求める来場者を中心に、2 日間とも例年通り賑わいを見せました。コロナ禍により、前回以上に入場規制を厳しくしましたが、待機列では間隔を空けて並び、入口にて手指消毒をするなど、感染症予防対策にご協力いただきました。

■ギャラリー

・毎年開催してきたプロ向け結婚写真コンテスト「ウェディングフォト・アワード」は、本年はコロナ禍による影響で中止。これに伴い、受賞作品コーナーは設けませんでしたが、代わりに新しい企画展示が行われました。

・新しい展示企画としては、メインステージ A で実施したパネルディスカッションと連動した国際コンペ受賞者作品展や、一般社団法人日本写真文化協会関東ブロック写真展「写真館物語」～写真館で残す家族の歴史～の 2 つを実施。このうちの前者は、ステージ登壇者による作品アドバイスコーナーも併設しました。

・また前回、大好評だった「こどもとかめら写真展」や、ワールドフォトグラフィックカップ（WPC）受賞作品展、日本写真館賞受賞作品展と、バラエティに富んだ作品が展示され、見応えのある内容となりました。

■有料セミナー

・本年は 3 本に厳選して実施。画像補正やライティングなど、さらなる撮影スキルアップにつながるテクニック講座を実施しました。

■業界関連セミナー

・以上の各セミナーのほかに、業界関連団体主催のセミナーも併催。一般社団法人日本写真学会と写真感光材料工業会主催セミナーは 6 月 15 日にパシフィコ横浜 2F 会議室で開催され、「最新カメラシステムの技術動向」「市場環境変化と機材状況 2021」の 2 セッション計 7 プログラムを行いました。

・同じく 6 月 15 日に展示ホール内で開催された日本フォトイメージング協会主催セミナーは「プロフォトグラファー向けセミナー」「フォトイメージングセミナー」の 2 部構成で計 3 セッションを実施しました。

4. 2022 年に向けて

・次年度の開催は、パシフィコ横浜 B ホールで、6 月 7 日（火）～ 8 日（水）の 2 日間、搬入日は同 6 日（月）に決定いたしました。

・主催 4 者は、定期的に月 1 回のペースで実行委員会を開いて開催の準備活動を行ってきました。引き続いて実行委員会での各種企画立案、準備作業を中心にして、さらに充実したフェア開催を目指します。

・最新情報は公式ホームページのほか、公式 LINE アカウントをはじめ SNS、通信誌「NEXT INFO」などで発信。また「PHOTONEXT オンライン」による特別セッションや関連プログラムを実施し、本番に向けて盛り上げていきます。

株式会社プロメディア 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-5-3 西新宿ダイヤモンドパレス 1105
TEL 03-6302-0801 / FAX 03-6302-0802 / info@photonext.jp